

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		産業振興課
	01	01	01	01	01	

政策
新たなひらめきを導くオープンイノベーションの推進

政策の内容

成長が期待できる産業分野における新たなひらめきを導くため、地域企業とスタートアップ、大学等との連携機会の創出や異業種交流を促進し、市場が求める価値を提供する製品やサービスの開発を支援します。
次世代輸送機器、健康・医療、新農業、環境・エネルギー、光・電子、デジタル、ロボティクスの成長7分野に加え、航空・宇宙など、地域企業と連携した取組により、次代を担う産業を育てます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
まちの産業	浜松市の企業は元気で活力があると感じますか。	2.98	2.97				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

第2期浜松産業イノベーション構想に基づき、(公財)浜松地域イノベーション推進機構を中心に地域産学官が連携し、既存産業の高度化、高付加価値化、成長市場・新産業の創出を目指している。
中小企業の新技術・新製品開発などの事業化や光・電子技術を活用した取り組み、EVシフトなど次世代モビリティへ対応について、実績につながる支援が必要である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	646,945				
決算	544,828				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	14.3				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
産業イノベーション支援事業	相談、情報発信などのコンシェルジュや知財活用・人材育成などの企業力向上、販路開拓などの産業イノベーション支援を実施する。	247,191
		238,137
先端技術活用促進事業(負担金)	地域のものづくり基盤技術と光・電子技術や世界の先端技術の融合による新産業創出を実現する。 ・フォトンバレーセンターへの負担金	54,650
		54,288
成長産業創出支援事業	成長7分野(次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、環境・エネルギー、光・電子、デジタル、ロボティクス)における革新的な技術・製品の事業化開発に対する補助金を交付する。 ・新産業創出事業費補助金 ・新事業挑戦事業費補助金	113,073
		87,689
EVシフト対応支援事業(負担金)	自動車関連企業の技術力向上や新製品開発に対する支援を実施。 ・次世代自動車センターへの負担金	70,000
		62,400
浜松自動運転や らまいかプロジェ クト事業	地域公共交通の課題を解決するため、自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの実用化に対する支援を実施。	813
		0
中小企業高度化 支援事業(負担 金)	市内の中小ものづくり企業とソフトベンダーの連携によるIoT化に対する支援を実施。	3,500
		3,455
産学官連携促進 事業(負担金)	浜松地域の産業振興、研究機能の充実を目的とした産学官の連携を実施。 ・浜松地域新産業創出会議負担金 ・レーザー中核人材育成事業負担金 ・組込みソフトウェア技術コンソーシアム負担金 ・はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点負担金 ・海外進出支援機関等負担金 ・マイスター・ハイスクール推進事業負担金	40,557
		40,477
次世代航空モビ リティ活用促進事 業	第4回ドローンサミットへ市内企業と共同出展し、市の取組や市内ドローン関連企業を全国にPRすることで次世代航空モビリティの集積を目指す。	4,856
		4,252
産業用ロボット導 入支援事業	市内中小企業が産業用ロボット等を新規導入することに対して補助金を交付する。 ・産業用ロボット等導入支援補助金	100,100
		41,925
中小企業脱炭素 経営支援事業	中小企業の脱炭素経営に向け、一連の段階に応じた一気通貫での伴走支援を行う。 ・相談窓口の設置 ・普及啓発セミナーの実施 ・専門家派遣 ・省エネ対策等支援業務	12,205
		12,205

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
フotonバレーブ ロジェクト(A- SAP)試作品開 発件数(件)	当該年度におけるA- SAP採択件数	試作品開発は、事業化へつな がる指標となるため。	目標値	-	12	12	12	12	12
			実績値	12	12				
			達成率	-	100%				
次世代自動車セ ンター試作部品 等製作委託(件)	当該年度における実績 ※2024年度実績は、 2025/3/14時点の実績 見込み	試作品製作は、事業化へつな がる指標となるため。	目標値	-	3	3	3	3	3
			実績値	2	2				
			達成率	-	66.70%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
新技術・新製品 開発などの売上 実績(千円)	新産業創出事業費補助 金採択者のアンケート (事業後10年間)の回答 ※2024年度実績は、 2012年度～2022年度の 売上実績の累計	売上と市内総生産額(実質)は、 相関関係にあるため。 ※市内総生産額(実質)の目標 値と同じく、年1.3%の増加を見 込む	目標値	-	11,928,553	12,083,624	12,240,711	12,399,841	12,561,039
			実績値	11,775, 472 (2012～ 2022年度)	13,086, 189 (2012～ 2023年度)				
			達成率	-	110%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
市内総生産額(実質)(億円)	○	1年間に、地域内で新たに生み出された付加価値の総額 ※「浜松市の市民経済計算(浜松市文書行政課)」 ※毎年度算出	実績値	3兆 3,149 (2022 年度)	2029年 5月確定					3兆 8,170
			達成率	86.8%	-					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

- ・高度人材が集積し、高付加価値で時代のニーズに対応した産業集積が進んでいる。
- ・高い技術力を持つ地域企業が、技術革新や異分野との連携により、持続的に成長している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
産業イノベーション支援事業	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構を通じて、「はままつ産業イノベーション構想」の目標実現に向け、情報発信、相談・コンシェルジュ、知財総合支援、新事業開発支援、販路開拓支援等の各事業を実施した。	企業ニーズや情勢の変化に応じた支援施策を迅速に実施していく。
先端技術活用促進事業(負担金)	フotonバレーセンターへの負担金交付を通じ、光・電子技術を活用した中小企業支援に取り組み、8件の試作品開発を支援した。	中小企業の課題と光技術とのマッチングを行い、光・電子技術の活用案件の更なる掘り起こしを促進する。
成長産業創出支援事業	成長7分野に関し新技術・新製品の開発を行う市内の中小企業者等を支援し、事業化17件の成果をあげた。	新技術・新製品の開発や製品化に向けた取り組みを促進し、成長市場・新産業の創出を図る。
EVシフト対応支援事業(負担金)	5つの支援体系(技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓)に基づく各種施策を実施し、次世代自動車ビジネスの獲得を支援した。	引き続き地域企業のEV等の次世代自動車に関する技術転換や技術開発を支援する。
自動運転やらまいかプロジェクト事業	自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの事業化を浜松市において図るため、官民連携で検討会を行った。	引き続き、自動運転の導入と実装に向けて支援を継続していく。
中小企業高度化支援事業(負担金)	デジタル技術を活用した生産性を図るため、4社のIoT化の導入を支援した。	市内の中小ものづくり企業とソフトベンダーと連携して、企業の生産性向上を引き続き支援していく。
産学官連携促進事業(負担金)	産学官と連携して、企業の新分野への参入支援、販路開拓、専門人材育成等の支援を実施した。	引き続き産学官の連携を促進し、浜松地域の産業振興と研究開発を支援していく。
次世代航空モビリティ活用促進事業	愛知県で開催された第4回ドローンサミットへ市内企業4社とともに共同出展し、本市や市内ドローン関連企業の取り組みを全国にPRした。	引き続き、次世代航空モビリティの集積を目指すため、次世代航空モビリティに関する取り組みを支援していく。
産業用ロボット導入支援事業	産業用ロボット導入に対する助成を行い、中小企業の生産性向上を支援した。	ロボットSierやロボット導入のコーディネーターと連携して、市内企業へのロボット導入をさらに促進していく。
中小企業脱炭素経営支援事業	相談窓口の設置や専門家派遣などを通じて、中小企業の脱炭素経営に向けた一気通貫した伴走支援を行った。	中小企業の脱炭素経営促進のため、金融機関などと連携し、CO2の見える化など、取り組み状況に応じた支援を実施していく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

はままつ産業イノベーション構想に基づき、既存産業の高度化、成長市場・新産業の創出に取り組んだ。新事業展開、販路開拓、生産性向上、経営や技術等に関する相談など企業のニーズに応じた幅広い支援を実施することができた。

アウトプット指標である次世代自動車センター試作部品等製作委託(件)は目標値3件に対して、実績が2件と目標値を下回ったものの、フォトンバレープロジェクト(A-SAP)試作品開発件数(件)は目標値を達成し、事業化につながる試作を支援した。短期成果指標である新技術・新製品開発などの売上実績も目標値を達成しており、今後数値が公表されていく長期的指標である市内総生産額達成に向けて引き続き必要な支援を継続していく。

一方で本市支援策を活用する企業の更なる掘り起こしに課題があり、今後は本市支援の一層の周知が必要である。企業を取り巻く経営環境は日々変化しており、企業の抱える課題や情勢の変化を捉えるため、企業訪問や関係機関との情報交換や連携を密に行い、企業が必要としている支援策を的確かつ迅速に実施していく。